

年頭所感

令和五年
樹芳

中日新聞 令和5年1月1日号より転載

中日会報

公益社団法人 中部日本書道会
編集事務局 名古屋 室番
〒450-0002 名古屋 45-19
中村区 名駅二丁目 45-19
桑山ビル 8階 C000番
FAX (583) 1910
http://www.cn-sho.or.jp
info@cn-sho.or.jp
印刷 株式会社 荒川印刷

新年のご挨拶



名誉会長 神田真秋

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、ご家族おそろいで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新しい年を迎えるのは、どなたにとっても心が華やぐものですが、同時に今年こそはと決意を新たにする時でもあります。本年が皆様にとって、希望が開けるより良き年になりますように願っております。

さて、お正月には、古くからの伝統行事として「書初め」があります。中日書道会でも、毎年子供たちのための「書きぞめ展」を開催しており、今年で七三回を迎えたと聞いています。その長い歴史に、頭が下がる思いでいっぱいです。実は、かく言う私にも、その書初めに ついてのささやかな思い出があります。

二〇〇五年の新年のことでしたが、愛知万博や中部国際空港がいよいよ実現するのを目前にして、熱い思いがこみ上げ、思いがけず筆を執ったことがあります。

した。それが知事時代に書初めをはじめのきっかけでした。爾来その年から知事を退任するまで七年間、毎年その時々キーワードとなる言葉を選んで揮毫し、県庁での仕事始め式でそれを示して年頭の挨拶することが恒例となりました。

二〇〇五年の『開花結実』に始まり、『今を越える』、『静かな眼』、『想像力』、『心機一転』、『捲土重来』と続き、知事を退任する二〇一一年に書いたのは『種をまく』でした。この『種をまく』は、私の最後のメッセージとして、万感の思いを込めて揮毫した記憶が今も甦ってきます。思えば、子供たちが書初めに励むのは、まさにその種まきのような気がします。

最近ではすっかり書初めをするともなくなりましたが、今ならどんな言葉を選んで書くのか、新年を迎えるといつもそんなことに思いを巡らせています。

依然として終息が見えないコロナ禍など、何かと心配事の多い時代ではありますが、常に希望を持ち続け、元気いっぱい前に向かって進んでいきたいものです。会員の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈りします。本年も中日書道会を、くれぐれもよろしくお願い申し上げます。

目次

- 1 神田真秋会長「新年のご挨拶」
榎本樹郎名誉会長代行揮毫
伊藤仙游理事長「新年のご挨拶」
安藤滴水名誉副会長「年頭所感」
第六十七回現代書道二十人展「出品
伊藤昌石常任顧問文化功労者表彰
第三十四回 書道教育研修会
第三回 書の匠展 第三十一回 壽書展
- 2 第二十六回 書の魅力 公開講座
会員交流ボウリング大会を終えて
- 3 理事会・評議員会・講演会のご案内
第九回日展入賞・入選者
第七十二回中日書道展出品案内
第七十二回中日書道展作品展不会場および会期
二〇二二年チャリティー愛の募金
募金参加者ご芳名
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8



理事長 伊藤仙游

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに、麗らかな令和五年卯年の新年をお迎えになられた事と、心よりお慶び申し上げます。

三年ぶりに訪れた行動制限のないお正月、もう少して屈託のない笑顔の生活に戻れるのではと期待しており、本会の様々な事業も平常通り運営できることを心から祈っております。

昨年後半からは種々の規制が緩和され、人数制限はありながらも人が集う機会が増えて行きました。ここで私達は、集い対面で話し合うことの大切さに改めて気付く事になります。相手の表情や息遣いなどを感じて汲み取ることや腹を割って話し合うなどは、リモートやメールなどでは難しい事だと思っております。「人は一人では生きられない」とはよく言われる言葉ですが、他者との直接の対話によってより一層理解が得られ、その関係性が深められるのだと思っております。私が理事長に就任させて頂いてすぐ

に始まったコロナ禍により、この三年余りは、様々な規制の中でいかに本会を運営す

るかに終始した感がありますが、今後は会員の皆様が集い相互理解を深められる機会を、少しずつですが増やして行きたいと考えております。

一昨年の文化財保護法の改正により、書道が登録無形文化財の第一号となりました。大変うれしい事ですが、私たち自身も次代へ繋げる努力をする必要があります。若年層への中日書道展の優遇措置などは既に行われておりますが、もっと根本的なこと、書そのものに対する一般の方たちの理解を深め書の楽しさ（デジタルよりアナログの魅力）を伝えることが大切で、それが会員の増加にも繋がって行くと思うのです。そのため何をして行けばよいか、私達が積極的に出ていく必要があるとは思いますが、ツイッター・インスタグラム等のSNSの活用など、今後さまざまに検討してまいりたいと思

じます。

本会は今年で創立八十九年を迎え、令和六年には創立九十周年を迎えます。この長きに渡り先達の先生方が引き継いでこられた本会が、益々充実発展致しますように、事務局・企画委員一同懸命に努めてまいります。皆様方には絶大なご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

名誉副会長 安藤滴水先生 年頭所感 (新聞掲載)



十一回中日書道展を開催いたしました。ふれる環境がありました。I 社会が時代を席巻し文字を 書く必要性を奪っておりま す。そうした中で裾野を広げ 若年層、青少年の皆さんのた めにも書道文化 の継承に力をつ くさなければな りません。

書道文化、大きな輪に

公益社団法人 中部日本書道会

名誉副会長 安藤 滴水

昨年サッカー の日本チームの

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本会は 昨年六月、元愛知県知事神田真秋先生を名誉会長にご推戴を申し上げ、就任をいたしました。会員の皆さんは、若者は世界を舞台に感動を与您に、ご推戴を申し上げます。同六 月愛知県美術館において第七 月愛知県美術館において第七

中日新聞 令和五年一月一日号より転載

本会名誉会長代行

樽本樹邨先生

第六十七回

現代書道二十人展 ご出品

会期 令和五年一月二十一日(土)〜一月二十九日(日)
会場 松坂屋美術館(松坂屋本店南館七階)

祝

常任顧問 伊藤昌石先生

令和四年度地域文化功労者

文部科学大臣表彰

功績概要

永年にわたり、書家として優れた活動を行うとともに、公益社団法人中部日本書道会理事長等を務め、地域文化の振興に貢献している。

(文化庁・令和四年度地域文化功労者表彰ホームページより引用)



表彰状

伊藤昌石殿

あなたは永年にわたり地域文化の振興に尽力し顕著な功績を上げられました。ここにその功をたたえ表彰します。

令和四年十一月十五日

文部科学大臣 永岡桂子

表彰状



ご受賞記念品

第三十四回 書道教育研修会

第二教育部長 川崎尚麗

本年度は、理事長伊藤仙遊先生の挨拶、副理事長松下英風先生の講話、田中修文先生、大池青岑先生の「てんこく入門」「草書を読んで書く」と題しての研修会を国際センタービル五階、第一会議室にて行いました。朝八時四十五分にマイク、プロジェクター等を事務所で受取り設営の準備をしました。「てんこく入門」では、田中先生の丁寧な解説と熱心な実技に時間も延長となり、四十三名の受講者が、楽しく川〇×△「卯」を刻しました。また、午後からは、大池先生の「草書を読んで書く」の解説では、プロジェクターを使つての解りやすく書く意欲を見出して下さる講義と実技でした。来年度も同様に開催する予定です。皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。ありがとうございます。



松下英風副理事長書道講話



漢字講座 大池青岑先生



篆刻講座 田中修文先生

第三回書の匠展・第三十一回壽書展を終えて

第二事業部長 馬場紀行

令和四(二〇二二)年度は十一月九日(水)から十三日(日)までの五日間の開催となり、本年より名誉会長に推戴申し上げた神田真秋先生の漢字額「不踰矩」を中心に樽本樹邨先生はじめ本会の重鎮から書の愛好家まで二三点(書の匠展は一七六点・壽書展は五十五点)を電気文化会館西・東ギャラリーに程好く陳列し、来場者には新型コロナウイルス感染症対策を十分に配慮して臨んだ。西ギャラリーは本年入り口から本会常任顧問以上の二十名の先生方の作品を配し、流石の逸品揃いで見ごたえ抜群であった。続く顧問・理事・監事・参与の先生方の作品も素晴らしく、その内容は漢字・かな・近代詩文書・少字数・篆刻と五部門が一堂に並ぶという全国的にも珍しい構成が興味を引く一因かとも思わ



書の匠展会場風景



壽書展会場

れる。また七十歳以上の評議員の先生方にも本年度から「書の匠展」に加わって頂き、正会員・準会員と会員外を対象とした「壽書展」も例年通りに賑わいを見せ入場者も年々増加しその認知度も増した感が窺えた。書は高齢者にとっては眼も手も頭も使う生涯学習であり、さらに人前に作品を展示する事で緊張感とワクワク感が増し、長年にわたり書に親しんでおられる方々にも本展は絶好の機会であったと推測する次第である。



令和四年度第二十六回 書の魅力 公開講座

研究部長 廣澤凌舟

十一月十三日(日)名古屋電気文化会館五階イベントホールに於いて「第二十六回公開講座」を開催いたしました。新型コロナウイルスの新規感染者が再び増加傾向にある中、十分な感染対策を講じた上で八十三名の参加者のもと行われました。

第一講座は、理事の加藤矢舟先生が「学校における書き初めTT指導の試み」と題して豊田書道連盟書写ボランティア活動の実践報告をされました。毎年恒例の書き初め大会に向けて市内の希望がある小中学校に連盟から会員を派遣して学校の教員と役割を分担して指導の支援を行っておられ、書画カメラや手本のQRコードで動画を見る

るなどICTを積極的に活用して、より分かりやすく書写技能を向上させる取り組みに心を奪われました。



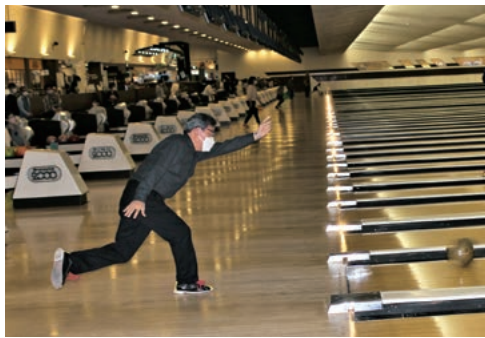
第一講座 加藤矢舟先生

かなかな文字の成立から完成までを歴史的な背景に基づいて説明されました。また、表現における料紙の果たす役割や先人の作品を示しながら古筆との関連性を丁寧に解説くださいました。最後に故高木聖鶴先生が卒寿の折に書かれた珠玉の作品を披露してください、あまりの美しさに参加者一同感激いたしました。

(文責 三代雄峯)



第二講座 山本雅月先生



伊藤仙游理事長始球式



ボウリング大会風景

会員交流

ボウリング大会を終えて

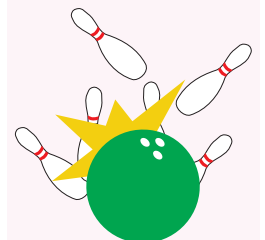
厚生部長 加藤矢舟

コロナ禍の中ですが、去る十二月四日(日)午後二時、星が丘ボウルで令和四年度中部日本書道会会員交流ボウリング大会が、五年ぶりに開催され、伊藤仙游理事長の開会の言葉で始まりました。引き続き、伊藤仙游理事長、松下英風副理事長お二人での始球式が行われ、その後ゲーム開始となりました。

念品が贈られました。懇談会には常任顧問の伊藤昌石先生、後藤汀鶯先生並びに企画委員の先生方にもご出席頂きました。安藤滴水名誉副会長の乾杯のご発声で懇談会が始まり、和やかなひと時を過ごしました。この催しにご協力頂きました皆様、賞品を提供頂きました協賛会員の皆様、本当に有難うございました。心より御礼申し上げます。

五十七名(男性二十四名・女性三十三名)の参加で競い合いました。ゲーム終了後、パティールームにて成績発表と懇談会。男性一位黒川虚宇氏、女性一位松下三雪氏に、樽本樹郎名誉会長代行よりトロフィーと記

- | | | | | | |
|----|-------|------|----|-------|------|
| 男性 | 1位 | 黒川虚宇 | 女性 | 1位 | 松下三雪 |
| | 2位 | 林 柏堂 | | 2位 | 吉田鏡華 |
| | 3位 | 天野白雲 | | 3位 | 高松彩月 |
| | ブービー賞 | 小椋雄大 | | ブービー賞 | 水野愛子 |



令和四年度
理事会・評議員会・講演会のご案内

〈予定〉

日時 令和五年二月五日(日)

会場 名古屋観光ホテル

第三回理事会

時間 十四時 より

第一回評議員会(報告会)

時間 十五時三十分より

講演会

時間 十六時三十分より

講師 日展特別会員
名古屋芸術大学教授

長谷川喜久氏

演題 「絵画鑑賞とは?」

目で視て心で感じる為に

懇談会

※懇談会は、コロナウイルス感染状況を鑑み実施いたしません。

第九回 日展 入賞・入選者

入選

愛知県

家田馨子 野村清涼 豊嶋青岑 福井芳子 水野美保子 赤堀正風 堀部保子 長村子鴻 安田雪篁 鈴木香鵬 田中光穂 磯貝弘子 柘野英峰 中野玉英 成田尚子 水野佑華 若杉美香 板倉恵子 小野田景月 加藤こづみ 衣川彰人 久米雪葉 清木美智子 橋本富子

長谷川緑光

三橋紅月 村瀬季舟 岩田緑汀 水野峯翠 梶山盛涛 山際雲峰 横井宏軒 磯谷凄聴 今田昌宏 今枝節峰 村田光柊 片岡秋華 山口晶子 田中修文 石黒直子 西尾雅子 松下英風 松藤草華 伊藤草華 齋藤禹月 小野田美晴 神谷緑泉 丹羽春蘭 村瀬俊彦 深谷恵庭 藤原郁代

伊吹代美

香月久遠 洞英翠 大池青岑 鷺野紫篁 片山清洲 坂本九瑠 大木青嵐 戸田青楓 戸川柳舫 細川友理 永井友理 井上貴文 上小倉積山 高木紅舟 寺尾桑林 清水春蘭 塚田俊可 黒川虚宇

三重県

加藤玉華 古田祥扇 成瀬孝子 谷鴻風 荒木敬子 稻垣流美子 山本雅月 佐久美泉涯 大嶋由美子 松田雅風 渡邊香蘭

東京都

長谷川鸞卿

静岡県

小野蹊泉

岐阜県

吉澤有岐子 石原清至 日比野妃扇 今井桃丘 林春翠 鈴木史鳳

※掲載のお名前は日展ホームページ発表での名簿順となります

(○印は初入選)

団体署名実施協力中



第七十二回 中日書道展 出品案内

一、会場・会期

▼愛知芸術文化センター

依嘱以上の役員(第一～五部全作品)

愛知県美術館ギャラリー 8F

無鑑査受賞作品(中日賞・桜花賞)を含む

▼名古屋市民ギャラリー栄 7・8F

無鑑査作品(第一～五部)(中日賞・桜花賞を除く)

二科作品(第三部)

二科作品(第一・二・四・五部)

一科作品 ①第一部作品(姓あ～す)・第五部作品

②第一部作品(姓せ)

③第二・三・四部作品

●愛知県美術館ギャラリー

第七十三回中日書きぞめ展 上位作品(一〇四点予定)を展示

※御長寿作品(米寿)の展示について

一科の作品は電気文化会館の一科の会期に、又、二科の作品は市民ギャラリーの各部の会期にて再度展示します。

※無鑑査の受賞作品(中日賞・桜花賞)はすべて愛知県美術館ギャラリー 8F に展示します。

一、出品部門

第一部 漢 字 第二部 か な 第三部 近代詩文 第四部 少字数 第五部 篆刻・刻字

一、出品資格

十五歳以上(平成二十年四月一日生まれ以前)の者とする。(但し十五歳から二十一歳までの者(平成十三年四月二日生まれから平成二十年四月一日生まれまで)は証明書(免許証、学生証、保険証等のコピー)を提出する。)

一、出品点数

出品は一人一点とし、二部門にわたる出品は認めない。

一、出品寸法

各資格の出品規程に記載する作品寸法とする。★本年度より一科の出品に作品寸法 A・B (二科出品サイズ) も出品することが出来ます。

一、出品料

各資格の出品規程に記載の出品料とする。

一、年会費

正会員の年会費は、本年度出品、不出品にかかわらず納入するものとする。

一、資格喪失

一科・展覧会役員で二年連続不出品の場合はその資格を失うものとする。(止むを得ない事情で出品できない時は、その旨本部へ書類を提出すること)

一、授賞式

令和五年六月二十五日(日) 名古屋観光ホテル 午後三時半より(予定)

一、祝賀会

令和五年六月二十五日(日) 名古屋観光ホテル 午後六時より(予定)

一、入場料

三〇〇円(小・中・高校生は無料)、資格証により入場できる。

一、書類搬入等

書類搬入はすべて取扱店がいたしますので、出品者は事前に取扱店へ出品票、出品料、協賛費などご提出下さい。締切りは四月十四日(金)までとさせていただきます。

中日書道展出品の全作品は、整理の都合上取扱店に委託する事とし、個人による書類搬入、作品搬入、搬出は認めませんので、ご注意下さい。

※正会員(展覧会役員及び一科会員)の年会費も、取扱店へ委託し、書類搬入時に納入していただきます。

一、その他

ご不明な点は二月末にお届けします出品規定・事務分掌をご確認下さい。

第七十二回 中日書道展作品展示会場および会期

※1 無鑑査の受賞作品（中日賞・桜花賞）はすべて愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。

※2 御長寿作品（米寿）の展示について一科の作品は愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。又、二科の作品（三部を除く）は市民ギャラリー六月二十日（火）～六月二十五日（日）の会期にて再度展示します。

一科	二科	二科	無鑑査	審査顧問 特別出品 一科審査会員 二科審査会員 依頼
一～五部 全作品	一・二部 四・五部 全作品	三部	一～五部 受賞作品（中日賞・桜花賞） 愛知県美術館 ギャラリー8Fへ	一～五部 全作品
※2 電気文化会館 東・西ギャラリー5F	※1・2 名古屋市民ギャラリー栄 7・8F			愛知芸術文化センター 愛知県美術館ギャラリー 8F ※1・2
10:00～17:00 ※最終日は 15:00まで	10:00～18:00 ※最終日は16:30まで			10:00～18:00 今回より金曜日も10:00～18:00 ※最終日は16:00まで
6/13 (火)				6/13 (火)
14 (水)				14 (水)
15 (木)				15 (木)
16 (金)				16 (金)
17 (土)				17 (土)
18 (日)				18 (日)
19 (月)				19 (月)
20 (火)				20 (火)
21 (水)				21 (水)
22 (木)				22 (木)
23 (金)				23 (金)
24 (土)				24 (土)
25 (日)				25 (日)
26 (月)				26 (月)

三週間の会期 7/3 (月)、 7/10 (月) は休館日	6/27(火)～7/2(日)	7/4(火)～7/9(日)	7/11(火)～7/16(日)
	一科 1部作品(姓あ～す) 5部全作品	一科 1部作品(姓せ～)	一科 2部・3部・4部 全作品

6/13 (火)
14 (水)
15 (木)
16 (金)
17 (土)
18 (日)
19 (月)
20 (火)
21 (水)
22 (木)
23 (金)
24 (土)
25 (日)
26 (月)
27 (火)
↓
7/16 (日)

（二宮支部）

街燈

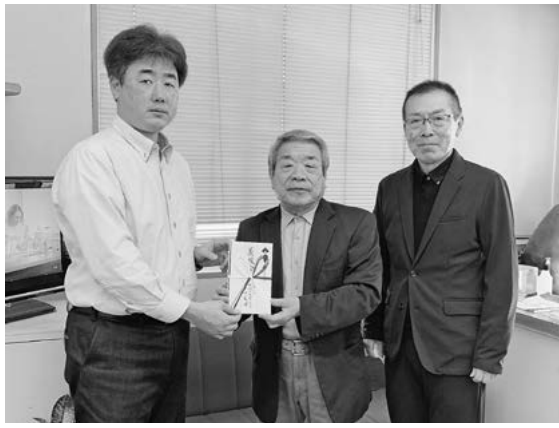
◇年末助け合いに寄託
中部日本書道会（名古屋
市）一宮支部は14日、年末助
け合い運動義援金として、
中日新聞社会事業団に10万
円を寄託した。川浦碧涛支
部長、橋本成良支部次長、
吉田桃花支部次長が中日新
聞一宮総局を訪れ、渡部圭
総局長に手渡した。写真。



中日新聞 2022.12.15(木)

梅田 楊華	太田 佳香	岡田 麗峰	尾之内柳雪	加藤 月苑	荻田 遵松	工藤 子隼	小島 泰子	笹本 汀風	清水 流香	鈴木 容華	田口 勢望
梅村 彩香	太田 紫翠	岡地 紅華	小野田景月	加藤 秀慧	川合 採星	國島 英華	小谷 春苑	佐竹 得道	志村 舟泉	鈴木 蘭峰	竹内 紫燕
江川 翠苑	太田 由香	岡野 敬子	小野田晃志	加藤 松雲	河合 翠月	久野 天山	小塚 珠香	佐藤 悦子	志村 松琴	須田 静波	竹内 春翠
江口 清翠	太田 游山	岡本 桃香	小野田美晴	加藤 翠林	河合 醉光	久納 竹景	古塚 璃幸	佐藤 華泉	下村 汀柳	清木美智子	竹内 清泉
江口 大濤	太田 葉子	小川 岳南	貝沼 春雨	加藤 夕堤	河合 翠山	熊崎 北咏	小寺 彩恵	佐藤 寛山	関戸 海越	竹内 友康	竹内 友康
遠藤 紫聖	大竹 玄友	小川 琴風	加古 松泉	加藤 博子	川浦 碧濤	倉内 秀佳	後藤 春洋	佐藤 晨麗	関根 玉翠	竹内 南里	竹内 南里
塩谷 秀蘭	大塚 窓月	奥田 薫苑	加古 松泉	加藤 碧涛	川口 紫泉	倉科 清恰	後藤 松烟	佐藤 水香	関谷 蒼玄	竹内 梅泉	竹内 梅泉
大江 峯子	大塚 裕子	奥田 蘭庭	籠瀬 提花	加藤 芳恵	川口 由美	倉田 珪延	後藤 幽泉	佐藤 桑碩	白木 紫香	瀬古 麗峰	武内 幽汀
大鐘 紫陽	大塚 樹抱	奥村 三葉	梶山 盛涛	金澤 秀鴛	川崎 清吟	倉田 瀨碧	小林 玉芙	佐藤 緑風	白柳ゆかり	瀬古 麗峰	武内 幽汀
大上 憧花	大野 蘭香	奥村 碧洋	片岡 蘭芳	可児 長望	河原崎坡青	倉田 朝華	小林 恵風	佐藤 九龍	新海 峰永	世古口大虚	竹内 由美
大川 澄泉	大場 敏充	尾崎 紫光	片桐千賀子	金丸 翠石	河村 喜汀	倉橋 華仙	小林 祥鶴	佐山 美楓	菅沼 貴香	世古口大虚	竹内 由美
大河戸柳光	大橋 幽徑	長田 裕華	片原 秀園	鎌倉 彩風	川本 赫汀	倉橋 高堂	近藤 翠嶺	沢井 鴻風	杉浦 琇鈴	平 富耀	武野 桂華
大崎 水愁	小笠原青華	長村 子鴻	加地 孤握	上小倉積山	川本 大幽	倉橋 松容	近藤 星屋	澤田 明琴	杉浦 仁美	高井 香園	武山 朝路
大鹿 珠翠	岡田 愛子	小澤 佳路	勝海 芝香	神谷 光園	神田 閨秀	栗本 珠路	近藤 晴翠	三田 蕉葉	杉田 節子	高井 東里	武山 春陽
大嶋由美子	岡田 恵香	尾関 楊花	加藤 永樵	神谷 松扇	神田 酔月	厨 柳青	近藤 青洸	三田 恵翠	杉山 瓊川	高木 愛子	田島 不染
大曾根弘風	緒方 津苑	落合 玉泉	加藤 杏華	神谷 素景	岸田 松峰	木澤 麗川	樽林 春翠	式守 白萩	鈴木 雲峰	高木 光風	田代 青穂

工藤 玉州	草野 慧泉	小嶋 千翠	佐々木見枝子	清水 翠芳	鈴木美都子	滝本 白峰	谷利 紫鳳
日下部みゆき	小嶋 瑞月	桜井 光雲	鈴木 石城	志水 憬堂	鈴木 凍山	高松 秀翠	谷 鴻風
清沢 華舟	小嶋 真海	酒瀬川香風	鈴木 静香	志水 玉華	鈴木 静香	高橋 竹香	田中 雅子
久徳 蓬香	小嶋 岐香	榊原 珠月	鈴木 松厓	澁谷 鳴風	鈴木 松厓	高橋 栖雲	田中 千翠
木村 明峰	小坂 克子	酒井 麗月	鈴木 史鳳	柴田 秀瑤	鈴木 史鳳	高橋 寿香	田中 尚秀
木村 霞月	河村 黄園	坂井 香泉	鈴木 紅瑤	柴田 玲甫	鈴木 紅瑤	高橋 華堂	田中 祥雲
衣川 彰人	甲谷富美子	酒井 光華	鈴木 香鵬	柴田 桃花	鈴木 香鵬	高根 桂祥	田中 春華
北村 光苑	小宇佐久美	齊藤 千秋	柴田 京楓	柴田 華逕	鈴木 京楓	高田 香坡	田中 修文
北野 春艸	小池 玲翠	齋藤 禹月	柴田 華逕	柴田 厚実	鈴木 華逕	高島 濤翠	田中 幸江
北川 爽風	五井 花徑	近藤 芳玉	篠田 瑞芳	柴田 鶴泉	鈴木 瑞芳	高木 清雲	楯 青蒨
木島 静月	黒田 寿水	近藤 梅鶯	篠田 祥濤	篠田 瑞芳	鈴木 祥濤	高木 紫光	館 由津
岸田 松峰	樽林 春翠	近藤 延子	式守 白萩	式守 白萩	鈴木 白萩	高木 光風	田代 青穂
木澤 麗川	厨 柳青	近藤 青洸	三田 恵翠	三田 恵翠	杉山 瓊川	高木 愛子	田島 不染
神田 閨秀	栗本 珠路	近藤 晴翠	三田 蕉葉	三田 蕉葉	杉田 節子	高井 東里	武山 春陽
神田 酔月	厨 柳青	近藤 青洸	三田 恵翠	三田 恵翠	杉田 節子	高井 東里	武山 春陽
川本 大幽	倉橋 松容	近藤 星屋	澤田 明琴	澤田 明琴	杉浦 仁美	高井 香園	武山 朝路
川本 赫汀	倉橋 高堂	近藤 翠嶺	沢井 鴻風	沢井 鴻風	杉浦 琇鈴	高井 香園	武山 朝路
河村 喜汀	倉橋 華仙	小林 祥鶴	佐山 美楓	佐山 美楓	菅沼 貴香	仙石 祥香	武野 桂華
河原崎坡青	倉田 朝華	小林 恵風	真田 九龍	真田 九龍	新海 峰永	世古口大虚	竹内 由美
川崎 清吟	倉田 瀨碧	小林 玉芙	佐藤 緑風	佐藤 緑風	白柳ゆかり	世古口大虚	竹内 由美
川口 由美	倉田 珪延	後藤 幽泉	佐藤 桑碩	佐藤 桑碩	白木 紫香	瀬古 麗峰	武内 幽汀
川口 紫泉	倉科 清恰	後藤 松烟	佐藤 水香	佐藤 水香	白井美喜子	関谷 蒼玄	竹内 梅泉
川浦 碧濤	倉内 秀佳	後藤 春洋	佐藤 晨麗	佐藤 晨麗	白井 景星	関根 玉翠	竹内 南里
河合 翠山	熊崎 北咏	小寺 彩恵	佐藤 寛山	佐藤 寛山	東海林路子	関戸 海越	竹内 友康
河合 醉光	久納 竹景	古塚 璃幸	佐藤 華泉	佐藤 華泉	下村 汀柳	清木美智子	竹内 清泉
河合 翠月	久野 天山	小塚 珠香	佐藤 悦子	佐藤 悦子	志村 松琴	須田 静波	竹内 春翠
川合 採星	國島 英華	小谷 春苑	佐竹 得道	佐竹 得道	志村 舟泉	鈴木 蘭峰	竹内 紫燕
荻田 遵松	工藤 子隼	小島 泰子	笹本 汀風	笹本 汀風	清水 流香	鈴木 容華	田口 勢望



〔年末助け合い運動に〕と、山内江鶴
支部長、杉江花城支部次長兼事務局長
が中日新聞半田支局へ伺い、「チャリ
ティー愛の募金」十万円を支局長の
北村剛史氏に寄託。

〔半田支部〕

令和四年十二月五日(月)

谷口 瑠苑 津田 松鶴 寺島 春恵
谷口 大観 土川 青翠 寺本 陽春
種田 瑞鳳 土屋 香風 藤堂 弘風
玉樹 栄香 土屋 春聲 錦澤 澄江
多和田墨濤 都築 心扇 徳倉 禾風
千葉 晨翠 堤 光星 戸崎 翠虹
中条 彰山 坪井 白汀 戸田 青楓
塚田 俊可 勅使河原恵翠 戸松 香苑
塚本 桃里 寺尾 桑林 戸松 紅翠
築山みなみ 寺岡 春蘭 富田 蘭月

永平巴旺子	中野 寿美	中野世津香	中西 草城	中西 笙月	永谷 恵子	永谷加代子	中田 和香	永田 美幸	永瀬 珠香	永瀬 紅蘭	中島祐三子	中島 祥園	長崎 成秀	中川 麗香	中川 星光	中川 瑞風	中川 瑞玉	中川 翔鶴	中川 貴舟	中尾 芝菜	永井 友理	永井 青楓	中井 港星	内藤 春翠	内藤 一翠	鳥居 柳城	鳥居 竹泉	豊嶋 青岑	外山 悠汀
野々垣清城	野田 虹園	野田 佳楊	野口 志園	野口紀代子	野村 恰光	根谷 捷子	根津 郷巴	丹羽 裕	丹羽 峰仙	丹羽 茜麗	丹羽 清郷	丹羽 春蘭	仁田脇京華	西村 松花	西田 康華	西垣 梨雪	西垣 美茜	西尾 雅子	西 恵香	新美 珠光	新美 秋鳳	中山 芳泉	長屋 天虹	中村 竹童	中村 曾南	中村 清園	中村 翠雲	仲村 春水	中村 和則
林 華泉	早川 緑園	早川 和子	羽根 寿子	花井 蘭徑	花井 清水	服部美枝子	服部 蘇華	服部 青巒	服部 瑞花	服部 春逕	服部 華泉	羽田野江楓	畑 裕子	秦 雪暎	長谷川鸞卿	長谷川翠流	長谷川眞山	長谷川春香	橋本 成良	羽柴 荅谷	橋本 成良	橋詰 桃邨	萩原 祐子	萩野 琴苑	則武 穹	野村 揚月	野村 清涼	野村 暁峰	野々村宜子
平野 芳碩	平野 公慎	平野 公鶴	平野 秀園	平岩 美風	平井三千代	平井 華泉	日比野妃扇	日比野寿翠	日比 京馨	日江井芝香	坂野 竹童	坂野 渚月	阪野 小波	半田 博子	坂 九瑛	原田 清尚	原田 圭竹	原賀 瑞芳	原 霞扇	早野 江郷	林田 虎峰	林 玲玉	林 由美	林 柏堂	林 天翔	林 大樹	林 如華	林 春翠	林 紫香
古田 春華	古田 秀紅	古川 侃司	古川 花溪	夫馬 春園	藤原 清泉	藤原 郁代	藤村 真徳	藤田 寒樹	藤澤 暎秀	藤井 和彦	福西 史呂	福谷 紅華	福田 徑揚	福島 有何	福岡 林泉	福岡 優慧	福井 芳子	福井 笙燿	深谷 恵庭	深津 洋子	深田 芳香	深井 尚子	広田 陽水	廣澤 光雪	広井 秀琳	平光 朱扇	平松 心華	平松 圭鳳	平原 皓月
松田 秋芳	松田 雅風	松田 鶴鵬	松下 三雪	松下 聖心	松下 鶴苑	松澤 昂永	松佐古溪水	松崎 青漣	松崎 朱實	松浦 瑞月	松井 秀麗	松井 香代子	増田 蘭苑	増田 春暉	増田 紅葩	牧野 瑞葉	牧 仙岳	牧 樹風	前野 登世	本田 煌雲	堀部 悠華	堀部 保子	堀田 孝子	堀田 花	堀田 恵香	星野 蘭雪	古山 玉扇	古田 清流	古田 祥扇
三輪田香苑	三輪 蘇生	三輪 三麗	宮原 玲舟	宮田 洋美	宮田 清風	宮崎 富山	三野島凌雲	皆川 嗣恵	三橋 紅月	光澤 閑石	溝口 渺然	溝口 純華	水野 美千	水野 清花	水谷 有志	水田 美泉	水田 珪華	望月 希彩	毛利 恵風	美希 昌風	見神 恵峰	村上 籬香	村上 華泉	丸山 聖峰	松元 彩華	松本 紅雨	松野下華清	松田 穂輝	松田 樹幹
矢田 紀香	安田 雪篁	安田 翠嵐	矢島 潮香	八木 彩花	矢上 扇麗	森山 溪花	森本 夏溪	森下 久美	森 隆城	森 政子	森 雪華	森 清葉	森 翠葉	森 絹泉	桃井 祥谷	物部 浩子	元橋 逸舟	望月 希彩	毛利 暁草	毛利 暁草	村田 籬香	村田 光柊	村田 華泉	村田 華雪	村瀨 竹風	村瀨 季舟	村上 薫仍	村上 康山	向山 青泉
横井 静嘉	山脇 三枝	山本 小谿	山本 史鳳	山本 香川	山本 光慶	山田 流芳	山田 有華	山田 正代	山田 白陽	山田 青舫	山田 紅照	山田 杏華	山崎 富泉	山崎 紅影	山口 律舟	山口 幸子	山口 裕子	山口 竹汀	山口 蕙世	山口 暁草	村田 籬香	村上 華泉	山川 昌泉	山内 窓楓	山内 香霖	山内 香霖	箭野 翠風	梁川 景雲	矢田部琴舟

吉兼 理樹 吉村 美雪 渡辺悠記子
 吉川 清軒 吉村 峰燕
 吉澤有岐子 米田 匡陽 愛澤 珠翠
 吉澤 劉石 若杉 美香 青木 美洲
 吉田 香雪 若林 春麗 青木 来夢
 吉田 江楓 若山 峰滢 青木 和馨
 吉田 清城 鷺津 岱嶺 青山 和生
 吉田 聖汀 鷺野 紫篁 青山 佳白
 吉田 桃花 渡辺 鶴山 縣 欣司
 吉田 美影 渡辺 慶心 朝岡 子皓
 吉原 愛璃 渡辺 月潭 浅川 都鸞
 吉村 和子 渡邊 香蘭 浅野 螢雪

〔西三河支部〕

中部日本書道会支部
会員らの善意10万円

年末助け合い寄託

中部日本書道会西三河支部の加藤松雲支部長が8日、中日新聞岡崎支局を訪れ、中日新聞社会事業団の「年末助け合い運動」に10万円を寄託した。「年末チャリティー愛の募金」として、会員らから寄せられた。

中日新聞 2022.12.9(金)



石田 李舟	石田 茜華	石黒 真泉	石倉 桜舟	石川 麗香	石川 玲香	石川 裕里加	石川 恵美	石川 鳴洲	石川 桃露	石川 加翠	井桁 翠咲	池阪 圭月	池上 創	飯田 峰千	安藤 幸恵	安藤 美恵	安藤 範香	安藤 昭亭	安藤 秀苑	安藤 秀苑	安藤 早百合	安藤 香波	荒木 桃花	荒井 游舟	新井 翠眉	天野 博子	阿部 光泉	東 瑶琴	浅野 瑶草	浅野 清澄	石塚 弘子	伊藤 久子	岩田 香翠	岩田 浩泉	岩田 純子	岩田 弥生	伊藤 蘭徑	伊藤 千砂子	石原 宗久	石原 久義	磯貝 みえ子	磯貝 碧雲	磯谷 明舟	五十川 朱翠	磯部 玉蘭	磯村 小園	磯村 香淵	板倉 虹華	市川 兼正	市川 香雪	市川 文野	伊藤 英美	伊藤 鳳珠	伊藤 恵子	伊藤 鴻仁	伊藤 紅葉	伊藤 茂	伊藤 紫鳳	伊藤 紫鳳	伊藤 秀英	伊藤 春翠	伊藤 祥子	伊藤 青慶	伊藤 爲廣	伊藤 紀子	岩田 永慎	岩瀨 八恵子	岩瀨 房子	岩瀨 祥苑	岩崎 翠風	井本 千游	今村 古雅	今村 由利	今西 道子	今井 翠柳	今井 金子	伊吹 紅鳳	井上三保子	井野 華水	大塚 八重	稲吉小夜子	稲吉 邦子	稲村 洋春	稲葉 翠泉	稲田 清婉	稲垣 流美子	稲垣 舞夏	稲垣 喜由	稲垣 輝彩	伊藤 蘭香	岩田 恵子	岩本 湛山	岩本 麗泉	上野 杏苑	上田 馨星	上田 清楓	上松 晨陽	宇佐美待月	内田 皐月	内山 雅舟	宇都野美代子	馬場 春蘭	梅村 香苑	江川 節子	江川 幽岳	江崎 婦沙子	榎田 瓊翠	榎本 翠峰	江端 穂香	大石 窓雪	大鐘 智美未	大久保 春鼎	大河内 淳風	大澤 雅舟	大澤 浩子	大城 紫萌	大畑 麦川	大野 彩	小川 順子	小川 香風	小川 蓮花	岡本 裕鼎	岡本 保子	岡田 容子	岡田 洋美	小倉 順子	奥村 恵美子	奥村 恵美子	奥野 鶴扇	奥田 桃里	小川 裕子	小川 真由美	小川 貴子	大平 貴子	大村 瑞苑	大村 裕子	大矢 大月	大山 雅峰	奥田 桃里	奥田 桃里	笠松 紫芳	加古 寅起	加古 多恵子	鏡 千裕	加藤 芳司	加藤 芳枝	加藤 北辰	加藤 浩子	加藤 眉翠	加藤 登紀子	加藤 桃徑	加藤 照代	加藤 孝子	加藤 大然	加藤 千冬	加藤 碩望	加藤 春溪	加藤 紫雲	加藤 珪風
-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

〔東三河支部〕



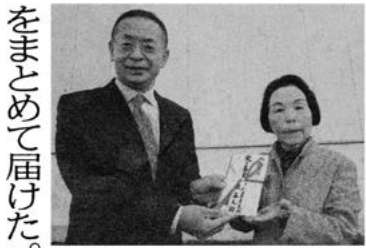
中部日本書道会東三河支部の村井康山支部長と山川孝子さんが30日、中日新聞豊橋総局を訪れ、中日新聞社会事業団の「年末助け合い運動」に10万円を寄託し



たゞ写真。会員らから寄せられた。

中日新聞 2022.12.1(木)

金倉あゆみ	河村 一雄	金原 恭江	小出 和香	小林 洋子	佐藤 典子	杉浦 芳苑	高須 紅竹	角田登美子
神村 瑤春	河村 紫夙	久世たか子	黄 容琇	小松 月泉	佐藤 芳泉	杉浦 芳純	高瀬 江舟	坪井 揖溪
神谷 幸穂	河村 典子	杵名 典子	甲谷 千樹	小松 翠篁	佐橋 爽翠	杉浦 陽	高津 朱美	坪山 香泉
神谷 芳翠	河村 美翠	國廣 寿仙	鴻巣 玉兔	小牟禮優美英	澤田 青草	杉田 樹石	高橋 江翠	鶴口 夏菜
河合 美玲	河村 雄鳳	久野 生麗	小島 華扇	子安 杏庭	澤田 麗香	杉村 虹苑	高橋 香碧	寺尾 洌
河合 恵萌	川村有紀奈	久保田香穂	小島 華扇	古家野弥生	三野美恵子	杉村 友香	高橋千代子	寺田 雅彦
河合 秀苑	川本 青柎	熊谷 弦謠	小島 瑞香	小山 峯雲	塩野谷厚志	杉本 和代	高橋 麗水	寺澤 茂子
川合 碩山	神戸 春谷	熊崎 香苑	小島 静珠	近藤 香月	宍戸 春月	杉本 錦楊	高山 さち子	土井 秀栖
河合 澄香	神戸 笙詩	久米 水聲	小島 徹	近藤 嘉江	志知 隆道	杉本 扇鈴	高山 さち子	遠山 翔雅
川北 博子	貴島 小舟	久米 雪葉	小島 大立	近藤 玲翠	志津野穂夏	杉山 恵子	滝本 柳烟	遠山 正幸
川口 花園	北浦 千鶴	倉田 果苑	児玉 峰月	斎藤 矧川	篠原 久祥	杉山 千鶴子	竹内 重則	遠山 柳恵
川口 和子	北村 玉鳳	栗木 美楓	後藤 焯雪	榊原 観峰	柴田 惠美子	杉山 秀夫	竹内 深風	梅野 春美
川口 芳雲	北村 義弘	栗山 幽香	後藤 智明	榊原 洗苑	柴田 恵子	杉山 洋子	竹内 翠邱	戸田 翠逕
川澄 良子	木野瀬陽光	黒澤百合加	後藤 柳月	坂口 丹華	柴田真由美	杉山 里英	竹内 敏夫	富田 梢峰
川瀬 実咲	木村 輝扇	黒柳 景光	小早川恵祥	坂田 華香	柴田 瑞香	杉山 和子	竹下 正樹	富田 朝煙
川松 杷泉	木村 香葉	栗名 孝枝	小林 雪晨	作内 星江	澁谷 弘峯	鈴木 京子	武田 芳雨	富永 飛燕
川村 鶴堂	木村 和象	小石 順	小林 千鶴	佐久間汀翠	島戸 香蘭	鈴木 和代	武田 景鳳	富田 霞汀
				桜井 花凜	清水 省子	鈴木 香葉	田澤 扇華	豊田 翠香
				佐久間汀翠	鳥戸 香蘭	鈴木 京子	武田 芳雨	富田 霞汀
				坂口 丹華	柴田 真由美	杉山 和子	竹下 正樹	富田 朝煙
				榊原 洗苑	柴田 恵子	杉山 洋子	竹内 敏夫	戸田 翠逕
				榊原 観峰	柴田 惠美子	杉山 秀夫	竹内 深風	梅野 春美
				斎藤 矧川	篠原 久祥	杉山 千鶴子	竹内 重則	遠山 柳恵
				近藤 玲翠	志津野穂夏	杉山 恵子	滝本 柳烟	遠山 正幸
				近藤 嘉江	志知 隆道	杉本 扇鈴	高山 さち子	遠山 翔雅
				近藤 香月	宍戸 春月	杉本 錦楊	高山 さち子	土井 秀栖
				小山 峯雲	塩野谷厚志	杉本 和代	高橋 麗水	寺澤 茂子
				古家野弥生	三野美恵子	杉村 友香	高橋千代子	寺田 雅彦
				子安 杏庭	澤田 麗香	杉村 虹苑	高橋 香碧	寺尾 洌
				小牟禮優美英	澤田 青草	杉田 樹石	高橋 江翠	鶴口 夏菜
				佐橋 爽翠	澤田 麗香	杉村 虹苑	高橋 香碧	寺尾 洌
				佐藤 芳泉	佐橋 爽翠	杉浦 陽	高橋 江翠	鶴口 夏菜
				佐藤 典子	佐藤 芳泉	杉浦 芳純	高橋 朱美	坪山 香泉
				小林 洋子	佐藤 典子	杉浦 芳苑	高須 紅竹	角田登美子



▼中部日本書道会濃飛支部 10 万円。支部長の三野島凌雲さん 写真と支部次長の増田春暉さんのが会員の「愛の募金」

中日新聞 2022.12.9(金)

佐藤 桃華	佐藤 すみ子	佐藤 彩柳	佐藤 幸泉	佐藤 恵順	佐藤 恵園	佐治 空谷	笹山万喜子	笹本 菜月	笹本 都和	佐々木博山	酒向 星恵	桜井 花凜	佐久間汀翠	作内 星江	坂口 丹華	榊原 洗苑	榊原 観峰	斎藤 矧川	近藤 玲翠	近藤 嘉江	近藤 香月	小山 峯雲	古家野弥生	子安 杏庭	小牟禮優美英	佐橋 爽翠	佐藤 芳泉	佐藤 典子	小林 洋子	
杉浦とし子	杉浦 純子	杉浦 直照	杉浦 幸子	杉浦 薫水	陣内 華苑	陣内 悦子	白井 美翠	庄野 照香	下村 佳風	志村 玲香	清水 由美	清水 省子	島戸 香蘭	澁谷 弘峯	柴田 真由美	柴田 恵子	柴田 惠美子	篠原 久祥	志津野穂夏	志知 隆道	宍戸 春月	塩野谷厚志	三野美恵子	澤田 麗香	澤田 青草	佐橋 爽翠	佐藤 芳泉	佐藤 典子	杉浦 芳苑	
千田 光麗	瀬邊 風馬	関村 吟香	関 翠虹	関 春香	須田 白城	鈴村 姫泉	鈴木 明蓬	鈴木 美峰	鈴木 桃玲	鈴木 青華	鈴木 眞壽	鈴木 香葉	鈴木 京子	鈴木 和代	鈴木 和子	杉山 里英	杉山 洋子	杉山 秀夫	杉山 千鶴子	杉山 恵子	杉本 扇鈴	杉本 和代	杉村 友香	杉村 虹苑	杉田 樹石	杉浦 芳純	杉浦 芳苑	杉浦 芳苑	杉浦 芳苑	
都筑 聖園	千葉 弘子	田宮 佑至	玉田 桃苑	谷田 青屋	谷川 花影	谷 順子	棚橋 紅蘭	田中 美香	田中 彩鵬	田中 桜花	帯刀 溪石	田澤 扇華	竹本 景鳳	武田 芳雨	竹下 正樹	竹内 敏夫	竹内 翠邱	竹内 深風	竹内 重則	滝本 柳烟	高山 さち子	高松 彩月	高橋 麗水	高橋千代子	高橋 香碧	高橋 江翠	高津 朱美	高瀬 江舟	高須 紅竹	
長澤 美峰	中川 玲波	中川 美翠	中川 翠山	中川 春光	長尾 有紗	永井 玲苑	永井 静景	内藤 蒼月	鳥居 玉瑛	鳥居 柳清	豊田 翠香	豊田 翠香	富永 飛燕	富田 霞汀	富田 朝煙	富田 梢峰	戸田 翠逕	梅野 春美	遠山 柳恵	遠山 正幸	遠山 翔雅	土井 秀栖	寺澤 茂子	寺田 雅彦	寺尾 洌	鶴口 夏菜	坪山 香泉	坪井 揖溪	角田登美子	
永田 彩乃	長瀬 竜清	長瀬 輝雪	中島 玲子	中島 汀葉	中島 千里	中島 千草	中島 佳伯	永田 正毅	中西 伸江	中野 榮信	中野 彩香	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子	中野 智恵子
長畑 清楓	中橋美恵子	中野 和陽	中野 聲石	中野 滋	長野 榮信	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香	中野 彩香
鳴川 翠月	成田 尚子	夏目 美沙	中村 眸	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子	中村 智恵子



〔北勢支部〕
令和四年十二月二日(金)
中日新聞四日市支局へ伊藤艸亭 支部長と荒木友梅支部次長が伺い、「年末助け合い運動に」と会員の皆様から寄せられた「愛の募金」より十万円を岩佐和也支局長に寄託しました。



〔中南勢支部〕
中南勢支部は十二月六日午後、中日新聞三重
総局を訪問し、「令和四年度チャリティ愛の募
金」として、金十万円を、三重総局長、萩 文明
氏に寄託を致しました。

- 成瀬 雪嶺 丹羽 白桜 野呂 竹泰 馬場 景子
- 新津 美泉 丹羽 博美 橋本 佳静 馬場 紅雲
- 西川 樹顯 丹羽 碧洋 長谷川治光 浜野 春瑛
- 西川 允子 庭田 静苑 長谷川春汀 早川 林花
- 西川 晴江 二和田通代 長谷川瑞鳳 華香
- 西川 佳江 野尻 紀子 長谷川鳳声 溪舟
- 西村 翠羽 野田 江泉 秦 青楓 皓月
- 西山 孝子 野田 翠香 服部 和子 松宮
- 西山 美翔 野田千津子 服部 紫翠 尚志
- 西脇 和子 野中 菁華 服部 修江 林 翠竹
- 西脇 聖園 野々川翠扇 服部 稲華 林 節香
- 蟠川 紫石 野村 貞美 花井 紅霞 林 泰伯
- 丹羽 崑代 野村 繁子 花井 麦雲 林 柏亭
- 丹羽 紅翠 野村 樹恵 花井 里苑 林 律翠

- 藤木 秀華 松岡 蘭毫 宮澤 煌泉 矢野 棠里 山田 光芳
- 藤井 秀堂 松岡 瓊玉 宮崎 芳川 箭野 貴美 山田 和子
- 福山 仁雅 松枝 翠苑 宮崎 弘園 柳瀬 緑風 山崎 春枝
- 福山 恵山 松浦 華雪 宮尾 清峰 梁川 美舟 山崎 曲全
- 福森 逢年 松居 光子 源口 貴子 八谷 白仙 山口 如泉
- 福原 秋冷 松井 雲海 溝口 春華 安田 春麗 山口 鈴代
- 福島 翠苑 町田 清芳 水野 百花 安井 柏陽 山口 紅鶴
- 福應 節子 増井 希 水野 紅翠 八木 清峭 山口 光華
- 深谷 朝美 牧野 瑞風 水谷 鳳月 諸富 瑞青 山口 含烟
- 廣野 陽風 牧野 秋陽 水谷 静香 守永 藍麗 山口 桜舟
- 平松千代子 前野 秋豊 水谷サト子 森下 美影 山口 晶子
- 平松 和子 本多 蘭香 水谷 廣風 森下 千翠 山川 節子
- 平松 明子 本田 吉華 水谷 玉汀 森岡 英子 山川 桂花
- 平林津賀子 堀 美洲 水谷 君代 森 真由美 山内 萌歌
- 平野 遊古 堀 梅肇 水越 鈴雪 森 芳彩 山内 清華
- 平澤 雲香 堀 清溪 三沢 桃紅 森 富華 山内 翔鶴
- 平川 彩舟 堀 杏華 御崎 勲城 森 環翠 山内 昂波
- 平井 祐里 洞 英翠 三浦 玉泉 室賀 芳艶 矢吹 喜泉
- 日高 真弓 穂積 清華 三浦 巖芳 村山 菫苑 村田 美保子
- 彦坂 翠花 細川 柳舫 真野 桃華 村知 清蘭 村田 麗水
- 日置 康苑 星野 律花 松本 春楊 村田 美保子 村田 美保子
- 半谷 恵風 星野 仙燁 松原 信子 村瀬 紫苑 村瀬 貴水
- 坂野 幸子 紅谷 碧水 松原 楽朋 村瀬 紫苑 村瀬 貴水
- 半田 幸瑩 古橋 勝櫻 松永 紫豊 村上 庸子 村上 庸子
- 坂 霞汀 古橋 紀風 松田眞理子 松田 典子 村上 泉醉
- 原田 峰葉 古崎 碧泉 松田 典子 松田 香雨 村上 泉醉
- 原 葵泉 舩橋 幽泉 松田 清美 三輪 彩光 宮部政代美
- 原 素代 舟橋 風苑 松田 玉芳 宮部政代美 宮部政代美
- 原 彩霞 藤原 紫光 松崎理恵子 宮地八千代
- 原 香風 藤村 瓊香 松崎理恵子 宮地八千代

(十二月二十三日(金)本部確認分)

〔岐阜支部〕

中部日本書道会岐阜支部 10万円。会員から集まった義援金を支部長の今田紅溪さんと鈴木蘭峰さんと写真が届けた。

中日新聞 2022.12.9(金)

第73回 中日書きぞめ展

会期 令和5年3月11日(土)～3月12日(日)

会場 ナディアパーク2階 アトリウム 名古屋市中区栄三丁目18-1

授賞式 令和5年3月12日(日) 午後2時 ナディアパーク 3階 デザインホール

書道教室推薦看板申請制度のご案内

本会では、書の勉強を希望する人々のために、また書道の優れた指導者を、広く一般の人々に紹介することを目的として書道教室等の推薦制度を実施いたしております。

この制度は、書道教室を経営する会員の先生方を側面よりバックアップするもので、教室または指導者に対して推薦証と推薦看板をひと組として、希望される会員に有料で交付するものであります。(左記参照)

交付にあたっては、この制度の内容から、誰にでも無条件というわけにはまいりません。

資格者は本会の正会員です。

ただし、準会員の方は、中日展に出品されている方及び本会が主催する書道教育研修会を受講された方に限ります。

記

○書道教室推薦証等交付申請書 一通
(申請書は本部へご請求下さい)

○推薦証(別記)

○推薦看板(写真)

○アクリル製、巾15cm×長さ60cm、指導者名を記入いたします。

○申込資格

○本会正会員及び

○選考会で認められた準会員

○推薦手数料 二五、〇〇〇円

(承認後ご連絡)

絡いたします

ので振替用紙

にてお振込み

下さい。

担当 教育部

推薦証

右の者は書道並びに書写教育の優れた指導者として認められるのでここに推薦する

公益社団法人 中部日本書道会推薦教室

第 年 月 日
第 号
公益社団法人 中部日本書道会

中部日本書道会書道教室 推薦証等交付申請書

令和 年 月 日

公益社団法人 中部日本書道会理事長 殿

申請者 住所 氏名(姓) (電話番号) ()

下記の通り書道教室等の推薦を受けたいので、手数料を添えて申請します。

教室名	
教室住所	
ふりがな	
指導者名(申請者名)	中日書道展 格 賞
備考	

(注) 指導者の書歴は裏面のとおりで

受付年月日 令和 年 月 日
交付年月日 令和 年 月 日
交付番号

※ご質問等は本部事務局迄連絡下さい。

会費未納の方へお願い

年度末も間近となってまいりました。令和四年度会費未納の方は、至急お納め下さい。(正会員で中日書道展不出品の方及び準会員の方で未納の方) 本部会員は、郵便振替 00890-6-14420。支部会員は、各支部会計担当者にご連絡下さい。

住所変更、改姓、改号、社中変更等 変更事項は本部までご一報下さい。

052(583)1900

新年明けましておめでとうございます。令和五年新年の中日会報二〇七号をお届け致します。コロナの影響も治まりきらない前年でしたが、本会の主要事業のほとんどが、感染対策の基開催され、五年ぶりに「会員交流ポウリング大会」も行われ、中日会報では、各事業のご報告をさせて頂きました。本号では、常任顧問伊藤昌石先生の、文部科学大臣表彰のお慶びを昨年の県教育文化功労者表彰に続いてご案内させて頂きました。お喜び申し上げます。本年も、会員の皆様との橋渡しが出来ますよう、編集部一同会報発行に尽力して参ります。本年も変わらぬご協力を頂きますよう、宜しくお願い致します。(編集部)

ホームページアドレス <http://www.cn-sho.or.jp> メールアドレス info@cn-sho.or.jp

社中展・個展のご案内掲載について

第四十三回墨友会書作展

会期 令和五年三月二十九日(水)～三十一日(金)

会場 四日市市立博物館 四階特別展示室

主催 墨友会 代表 加藤子華

※開催日程は博物館の都合により左記に変更になる場合があります。

令和五年三月三十一日(金)～四月二日(日)

本会会員による書展のご案内を会報及びHPにて掲載させていただきます。会報掲載には、展覧会案内原稿、HP掲載には展覧会案内ハガキをお送りください。尚、展覧会原稿及びハガキは、必ず封書にてお送りください。次号掲載は、五月下旬～八月中旬開催の展覧会となります。お申し込みは、三月二十日までに本部へお願いします。 編集部

計 報

心より哀悼の意を表しご報告申し上げます。

○10月8日 評議員 堀田智洋氏 享年67

○10月8日 理事 後藤啓太氏 享年85

○10月8日 理事 伊藤正三様 享年85

○10月17日 顧問 高橋秀箭氏

○10月22日 評議員 元祐秀蘭氏 享年77

○11月16日 評議員 片岡蘭芳氏 享年79

○12月24日 顧問 寺田樹風氏 享年88

○不明 事後報告 正会員 脇田玉波氏 享年81